

行政 A (大卒程度) 採用試験 教養試験問題

【例題 1】 2020年度の兵庫県の施策に関する次の記述のうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア。水素社会の実現に向けた動きが活発化する中、水素ステーションの整備を促進するほか、バスへの次世代燃料電池自動車導入を支援する。
- イ。スーパー、福祉団体等と連携し、家庭で使い切れない食品を子ども食堂などで有効活用するローリングストック運動を全県で実施する。
- ウ。資源循環に向けた市町の分別回収モデル構築を促し、レジ袋などの削減に取り組む県民運動を実施するほか、海底・漂流ごみの回収支援も進める。
- エ。自動車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多発したことを受け、今年度から新たに踏み間違い防止装置の購入支援に取り組む。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

(正答) 2

【例題 2】 2020年度の兵庫県の施策に関する次の記述のうち誤っているのはどれか。

1. 急増する児童虐待相談にきめ細かに対応するため、こども家庭センターの専門職員を増員し、体制強化を図るとともに、阪神地域、北播磨地域にはセンターを新設する。
2. 介護需要の増大に伴う人材不足に対応するため、介護ロボットやICT（情報通信技術）機器の導入を推進し、労働環境を改善する。
3. 障害者の職場定着に向けた支援のため、県独自のジョブコーチ制度を創設し、ジョブコーチが障害者の職場適応や企業の雇用管理に関する支援を行う。
4. 全国平均と比較し高い水準にあるがん検診受診率を更に高めていくため、市町域を超えた広域的な検診受診体制を構築する。
5. 医師不足が深刻な産科、小児科と、今後需要が増える見込みの総合診療科の専攻医に対し、研修資金の貸与制度を創設する。

(正答) 4

【例題 3】 2020年度の兵庫県の施策に関する次の記述のうち**誤っている**のはどれか。

1. 起業・創業の活性化のため、開発途上国での食料確保など、社会課題に挑む起業家を育成する国連プロジェクト・サービス機関 (UNOPS) のグローバル・イノベーション・センター (GIC) を開設する。
2. 六甲山の活性化のため、遊休施設の改修や建て替え支援の拡充に加え、産業立地条例の拠点地区に指定し、税の軽減や設備投資、新規の正規雇用に対する助成を行う。
3. 防災対策や事業承継、起業、ナイトライフの活性化などに取り組む中小企業への制度融資による支援を拡充する。また、経営改善に取り組み、優れた成果を上げた企業をひょうごオンリーワン企業として認定する。
4. 新長田駅南地区のにぎわいづくりに資するため、県立総合衛生学院の移転建て替えに合わせ、リカレント教育などの拠点として兵庫教育大学と兵庫県立大学を誘致する。
5. 孤立・分散した農地の借り受けや、農地の農作業を受託する人材とのマッチングを行うJA出資法人などを支援し、小規模農家が所有する農地の放棄田化を防止する。

(正答) 3

【例題 4】 兵庫県議会に関する次の記述のうち誤っているのはどれか。

1. 県議会には、定期的に行われる「定例会」と、必要に応じて臨時に行われる「臨時会」がある。
2. 定例会は、2月、6月、9月、12月の年4回開かれる。
3. 限られた会期中で多くの議案などを審議・審査するため、少人数の委員会を設け、専門的に詳しく審査を行う。
4. 議会に提出された議案は、本会議から関係する委員会に付託され、審査・調査が行われた後、本会議において議決される。
5. 予算特別委員会は9月定例会で、決算特別委員会は2月定例会で、それぞれ設置されることが通例となっている。

(正答) 5

【例題 5】 近年の地球環境問題に関する次の各文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ・近年、世界的に異常気象が頻発しており、地球温暖化の傾向と一致すると解されている。地球温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定では、ア 今世紀後半に人為的な温室効果ガス排出量を実質ゼロ（排出量と吸収量を均衡させること）にすることなどを目標としている。しかし、2019年11月にアメリカのトランプ政権はパリ協定からの脱退を正式に通告した。世界のエネルギー起源二酸化炭素の国別排出量を見ると、アメリカは、イ 近年、中国を抜いて世界第1位となり、アメリカ一国で世界全体の排出量の約4割を占める。アメリカの脱退が協定の実効性に影響を及ぼすことが懸念されている。
- ・世界の森林面積は減少しており、2010～2015年の間には、ウ アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北中米、南米、オセアニアのいずれの地域でも森林面積が減少した。近年は森林火災が頻発しており、2019年には、エ ブラジルのアマゾンやオーストラリアなどで大規模な火災が発生した。
- ・近年、海洋プラスチックごみによる海洋汚染が地球規模で広がっている。陸上から海洋へのプラスチックごみの流出量を国別に見ると、オ 日本やアメリカ、西ヨーロッパ諸国が多く、上位を占めると推計されている。2019年のG20大阪サミットでは、2050年までにプラスチックごみの流出による海洋汚染をゼロにすることを目標として策定した。

1. ア, エ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, オ

(正答) 1

行政 A (大卒程度) 採用試験 教養試験問題

【例題 6】 2019 年 7 月に行われた参議院議員通常選挙に関する次の文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

2019 年の参議院議員通常選挙では、前年の公職選挙法改正により、ア定数が削減され、一票の格差の縮小が図られた。また、同改正では、比例代表選挙についても見直され、イ非拘束名簿式を基本的に維持しつつ、政党等が、優先的に当選人となるべき一部の候補者を、順位を付けて名簿に記載できる特定枠制度が新たに導入された。

選挙の結果、与党である自民党と公明党は、改選議席のウ過半数を獲得した。選挙後の全議席について見ると、与党と憲法改正に前向きな勢力とを合わせたいわゆる「改憲勢力」の議席数が憲法改正の国会発議に必要な議席数をエ上回り、これを受け、衆参両院の憲法審査会において憲法条文の改正案の審議が始まった。また、女性の参議院議員数は過去最多となり、オ全参議院議員に占める女性の割合は 30% を超えることとなった。

1. ア, エ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, オ

(正答) 3

行政 A (大卒程度) 採用試験 教養試験問題

【例題 7】 ある店で、赤ワイン 4 本と白ワイン 5 本のセットを 1 万円で、赤ワイン 2 本と白ワイン 3 本のセットを 6 千円で販売した。2 種類のセットの売上は合計 50 万円で、売れた赤ワインの本数は合計 180 本であった。売れたセットの数は合計いくつか。

1. 55 セット
2. 60 セット
3. 65 セット
4. 70 セット
5. 75 セット

(正答) 4